

作品 No.162



生きものの“つぶやき”:

「あ、見つかった…」

### エッセイ:

お母さんと弟といっしょに小学 6 年生ぶりに鎌倉に行きました。鶴岡八幡宮に行った時、このリスを見つけて思わずシャッターを押しました。可愛くて、人馴れしていました。こんなに小さなリス。それでも私たちと同じように心臓が動いています。血液が流れています。これって素敵なことじゃないですか？わたしはこのような小さな命を大切にしたいと思っています。また、このリスは外来種です。人間から厳しい目を向けられることもあるかもしれませんが、外来種になりたいくてなったわけではありません。だからこそ、これを読んでくださった誰かが少しでも温かい目で動物を見守ってくれたらありがたいです。(279 字)

### 生きものの紹介:

たぶん、タイワンリスだと思います。

特定外来生物。ニホンリスより少し大きいサイズ。

頭胴長が 20-22cm 尾長 17-20cm

### 撮影場所・日時:

神奈川県鎌倉市・2019 年 4 月 30 日

### 応募者の自己紹介:

1. 齋藤 歩花 (さいとう ほのか) / 佐野日本大学高等学校 2 年
2. 特になし
3. 将来の夢: 将来の夢はどんな動物も見捨てない獣医師になることです。

### 審査員よりひとこと

エッセイが素晴らしい。外来種が悪いのではなく、それを自然に放してしまったことが問題ですね。